

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-133	A-169	16-096	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）			
Use of social networking sites and alcohol consumption among adolescents. 思春期におけるソーシャルネットワーキングサイトの使用状況と飲酒			
執筆者			
H. Sampasa-Kanyinga, J.-P. Chaput			
掲載誌			
Public Health. 2016 Oct;139:88-95. doi: 10.1016 /j.puhe.2016.05.005.			
キーワード			PMID
ソーシャルネットワーキングサイト、暴飲、アルコール、思春期			27311992
要 旨			
目的： カナダの中高校生のソーシャルネットワーキングサイト（SNS）の使用状況と飲酒の関連を調査し、この関連が性別や飲酒習慣で異なるかを調査した。			
方法： 2013年州別広域調査（The Ontario Student Drug Use and Health Survey）の対象者から、自己申告（返答率 63%）により SNS に費やす時間と飲酒、社会人口学的特徴のデータを得た。親の教育レベルを除く全ての変数に欠損のない学生 10,072 人（11-20 歳, 7-12 年生）を分析対象とした。過去 12 か月の飲酒頻度は、非飲酒（一度もまたは過去 12 か月飲んでいない、一口しか飲まない）、機会飲酒（月 1 回未満または特別な機会のみ飲む）、習慣飲酒（月 2 回以上飲む）に分類し、過去 4 週間の暴飲（1 機会に 5 杯以上飲む）も調査した。SNS 使用頻度は、たまに使用するまたは全く使用しない、日常的な使用時間が 1 日 2 時間未満、2 時間以上に分類した。SNS 使用頻度と暴飲および飲酒頻度との関連は、二項および多項ロジスティック回帰分析を用いて性別に解析した。共変量は年齢、民族性、主観的社会経済的地位、親の教育レベルとした。親の教育レベルの欠損は集団平均値で補完した。			
結果： SNS をたまに使用するまたは全く使用しない者に比べ、日常的な SNS の使用が 1 日 2 時間未満、または 2 時間以上である者は、女性では機会飲酒（相対リスク比[RRR]: 2.5, 95%信頼区間[95%CI]: 1.8-2.6; RR: 4.2, 95%CI: 2.9-6.1）および習慣飲酒（RRR: 7.3, 95%CI: 3.3-16.1; RR: 17.1, 95%CI: 7.0-41.8）と、男性では、習慣飲酒（RRR: 3.1, 95%CI: 1.8-5.2; OR: 3.7, 95%CI: 2.0-10.1）と関連していた。また、男女ともに SNS の日常的使用（1 日 2 時間未満および以上）は暴飲と関連していた。			
結論： SNS の使用頻度は、思春期男女の飲酒習慣および暴飲と関連しており、特に女性において強い関連を認めた。			